

（6面から続く）
にぎわいのある河川空間を創り出していく。

公園へのAED設置を問う

【質 問】公園隣接施設の屋外設置と公園への屋外設置の拡充について、設置状況調査の分析と区の見解を伺う。

【区 長】全庁的な調査を行い、新規配備などの対応に向け、精査を重ねている。公園への屋外設置については、適切なAED配置となるよう、多角的な視点で検討を行う。

防犯対策について問う

【質 問】個人住宅の防犯対策費用の助成制度導入の検討を希望する。見解は。

【区 長】他区で実施している助成制度については把握しており、今後、導入の可能性について検討していく。

老朽建築物及び空き家対策について問う

【質 問】隣地統合補助制度の検討を進めることを希望する。検討状況と見解は。

【区 長】売主・買主双方に助成を行う隣地統合補助制度について研究し、無接道敷地における空き家対策の検討を進めていく。

自治体システムの標準化について問う

【質 問】システム移行に係るベンダー選定状況やシステム移行時の設定作業の状況について伺う。

【区 長】システム開発体制の早期立ち上げの必要性から、基本的に現行の事業者を選定した。既に、複数の事業者と合同ミーティングを重ね、システム設定に関する協議を進めるなど、計画に沿って着実



いしだ圭一郎

（公明党）



区の財政負担と影響を問う

【質 問】特別区債と財政運営の長期見通しについて伺う。

【区 長】基金及び起債の活用方針に基づき、借入利率の動向や基金残高、公債費負担比率などの指標に注視しながら、特別区債を適正に発行し、健全な財政運営に努めていく。

ふるさと納税について問う

【質 問】返礼品として、いたばしPayの電子クーポンの導入可能性について伺う。

【区 長】実現には、区内産品の購入に限るなど、国の市場産品基準を満たす必要がある。このような課題の解決策とともに、導入効果も見極める必要があるため、今後の研究課題としていく。

板橋のいびんについて問う

【質 問】板橋のいびんをふるさと納税の返礼品として取り扱う品目や品数を伺う。

【区 長】現在、和菓子やパ

に取り組んでいる。

軟骨伝導イヤホンの活用について問う

【質 問】窓口での導入について、試行含め、検討を改めて求める。見解は。

【区 長】試行も含め、効果が確認できた段階で、高齢者が多く訪れる窓口を中心に、導入に向けて検討する。

※以上のほか、区の歳入環境新公会計制度、交通安全対策子ども・若者政策について質問があった



中妻じょうた

（民主クラブ）



本気の少子化対策を求めて

【質 問】大山駅周辺、板橋駅西口周辺、上板橋駅南口駅前、高島平地域の4大まちづ

危機管理について問う

【質 問】かわまちづくりに限らず、イベントなどを行う際にトイレラックやトイレトレーラーの導入を提案する。

【区 長】かわまちづくり計画を含め、防災訓練や屋外イベントなど、あらゆる角度から導入の検討を重ねている。

【質 問】宅内配管修繕を円滑にするため、区内建設関連事業者などに支援要請ができる体制を構築しておくべき。

【区 長】災害発生後には、被災者のための相談所を開設する予定であり、その際に、区民の生活再建への協力を各事業者者に依頼していく考えである。

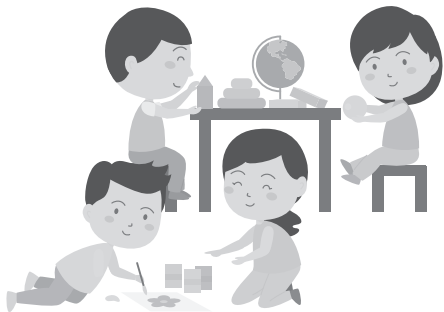
【質 問】5年度に木造住宅の耐震化促進事業の助成額の引上げを行い、区民の負担軽減を図っているが、さらに助成額を引き上げるべき。

【区 長】所有者の経済的負担軽減が、木造住宅の耐震促進につながる期待できることから、その方策について検討し、早期に具現化していく。

子ども施策について問う

【質 問】フリースクールに通う児童・生徒の保護者に、都の補助額上限を超えた分の利用料などを補助すべき。

【教育長】現在、区独自の補助金導入の予定はないが、都が実施しているフリースクール等利用者支援事業について、在籍校を通じて周知している。



高齢者施策について問う

【質 問】運転免許証を自主返納した高齢者への電動車いす購入補助事業を実施した場合の概算予算と実現の可能性について伺う。

【区 長】区内では高齢者運転免許自主返納サポート協議会の加盟企業などの特典が受けられる。電動カートも割引で購入できるため、現段階では区独自で導入する考えはなく、予算化も想定していない。



五十嵐やす子

（民主クラブ）



持続可能な社会とするために

【質 問】森林環境譲与税を学校施設の断熱に活用することとは、環境教育の観点からも意義があると考ええる。見解は。

【区 長】森林環境譲与税の活用を広く区民に伝えていくためには、区の施設を利用する中で木材に触れることも有効と考えている。指摘があった活用事例を含め、研究し、活用を進めていく。

【質 問】CO₂削減及び環境学習の観点から、清掃車とスケルトン清掃車において、EV車の導入を検討すべき。

【区 長】清掃車の大幅な仕様変更には、多くの調整と時間を要すると考えるが、現在、情報収集に努めている。スケルトン車については、EV車両本体価格、改造経費ともに高額であり、導入は難しい。

本気の交通政策を求めて

【質 問】狭あい道路地域へ、ライトバンサイズの公共交通機関の導入を求める。見解は。

【区 長】6年度、東新町・小茂根地域で住民との意見交換会を実施した。ワゴン車や小型車を使用する様々な取組みの事例を示しており、引き続き、意見交換を行っていく。

本気の国際化を求めて

【質 問】日本語教育に取り組むNPOなどの団体に、活動を行う場所の支援をすべき。

【区 長】ボランティア団体が日本語教室を実施する場合は、活動場所の提供を行っている。優先して施設を貸し出すことは難しいが、活動できる場所は今後も提供していく。

能登復興支援について問う

【質 問】区役所のギャラリモールなどを活用し、「能登伝統産業展」を実施すべき。

【区 長】6年2月に実施した物産展は、売上げも大変好調であり、今後も機会を捉え、復興支援を行っていく。

※以上のほか、都市農業の振興、地域課題について質問があった



小柳しげる

（共産党）



物価高騰から中小企業を守れ

【質 問】ワンストップの相談窓口を設け、複数ある窓口のわかりにくさを解消すべき。

【区 長】産業振興課や産業振興公社などが相談を受けている。今後も複数の窓口が連携し、様々な相談に応じた適切な支援を行い、ワンストップ相談の機能を果たしていく。

【質 問】企業活性化センターの経営改善チーム（板橋モ



企業活性化センター

理し、検討する必要がある。

【質 問】障がいのある方が指定避難所に避難した後に、福祉避難所に移動することは難しいため、直接、福祉避難所に避難できるようにすべき。

【区 長】震災時については、6年度から、新規の福祉避難所と協定を締結する際は、当該施設に通所している要配慮者の直接避難を要望し、一定の理解を得ている。今後も、福祉避難所を運営する事業者に働きかけていく。

※以上のほか、情報の発信と活用のために、常盤台・上板橋地域の未来に向けて、香害について質問があった

デル）の周知方法の検討を。

【区 長】より効果的な周知方法を引き続き検討していく。

気候危機対策の強化を問う

【質 問】いたばしグリーンプラン2035では、気候危機対策や温室効果ガスの吸収を明確に目的に定め、緑の量を増やす施策を講じるべき。

【区 長】温室効果ガスの吸収までは目的に定めないが、ゼロカーボンなど、気候危機対策に資するよう緑の保全活動を推進し、将来も過ごしやすいまちの実現につなげていくことを検討している。

【質 問】区有施設における再生エネルギー電力の導入拡大の見通しは。

【区 長】計画では、7年度までに区の高圧受電施設の電力使用量の約64%まで導入することを目標としている。